

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	国立公園等における大型獣との共生推進費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年～平成24年		担当課室	国立公園課		課長 鳥居 敏男			
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	自然公園法第2条第7号 自然公園法第3条第2項 自然公園法第38条～第42条		関係する計画、 通知等	知床・阿寒・尾瀬・南アルプス・霧島・屋久島生態系維持回復事業計画 生物多様性国家戦略2012-202 国立公園における生態系維持回復事業取扱要領					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	シカによる食害等で生態系被害の著しい国立公園等において、生態系維持回復事業等に基づく科学的且つ順応的な対策を総合的に講じ、シカの生息頭数を適正化し、生態系被害を軽減することで、我が国の生物多様性の保全上重要な国立公園等の貴重な生態系を保全することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	生態系維持回復事業等に基づきシカ個体数の適正化を図り、生態系被害の軽減を図る。 具体的には、関係機関との役割分担及び協力体制の整理・構築、シカ影響状況把握・植生の現況把握、事業効果検証のモニタリング実施、効果的な捕獲手法及び地域毎の高効率捕獲箇所の検討並びにシカ捕獲に関する知見・技術の集積等を行い、予防的且つ順応的な各種シカ対策を講じることにより生物多様性の保全上、重要な国立公園等の生態系の維持回復を図る。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	65	76	62				
		補正予算	0	0	0				
		繰越し等	0	0	0				
	計		65	76	62				
	執行額		64	67	58				
執行率(%)		98	87	94					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	シカの生息頭数を適正化し、生態系の維持回復を図る。 なお、地域毎の植生の状況、地形の状況、シカの生息状況等はもろもろ異なるため定量的な目標は設定できない。			成果実績	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	生態系維持回復事業計画の策定数			活動実績 (当初見込み)	件	3 (3)	3 (3)	2 (2)	- (-)
単位当たり コスト	活動指標については、上記のとおりであるが、地域毎に植生、地形、シカの生息状況等の条件が異なり、標準化ができるものではないため、単位あたりのコストを算出することが困難である。			算出根拠	-				
平成25・26年度 予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	前年度限りの経費				平成25年度予算より当該事業は、鳥獣保護管理強化総合対策事業費(国立公園等シカ管理対策事業費)に組替え計上されているため。				
計									

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	事業実施地域は、国立公園及び国指定鳥獣保護区の核心地域であり、当該地域の自然環境保全は国の責務である。また、当該地域は、優れた自然が保全された国民の保健、休養に資する重要な地域であり、その資質を維持回復する目的で実施している当該事業は国民のニーズがあり、優先度が高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札により支出先を選定することを原則とし、少額のものにあつては複数者から見積りを取得し、最も安価な者を支出先として決定しているため、競争性を確保した上での適切な支出先を選定している。また、事業の実施内容は、地域の協議会等において検討・共有の結果を踏まえたものであり、シカの頭数管理に資する真に必要な事業に費目・使途を限定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	活動実績は、当初見込みに見合ったものであり、成果は各地域において実施されているシカ個体数の適正化に向けた取り組みに十分活用されている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	—		—	—		
	—		—	—		
環境省において、発注時点からその内容を把握しながら実施するとともに、環境本省と地方環境事務所が連携し、当該事業の執行に際して期間全体にわたって指導・監督に努めており、資金の流れ及び費目・使途の妥当性は確保されている。特に、調査や捕獲等については環境省において事前指導を行った上で実施させるとともに、担当自然保護官が現地の調査に関する連絡調整、調査実施前には調査計画(時期、内容、体制等)や使用する備品等についても確認する等、必要な助言・指導を行いながら実施している。また活動実績についても当初の見込みを達成しており成果目標の達成に向け順調に進められており、効果的且つ効率的な執行が確保されている。なお、平成25年度は、より効果的且つ実行性の高い事業とするため、事業内容を精査拡充の上、環境省の他事業との連携を念頭に別途「鳥獣保護管理強化総合対策事業費(国立公園等シカ管理対策事業費)」に組み替えて事業を実施していく。						
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	186	平成23年	177	平成24年	186

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
58.3百万円



秩父多摩甲斐国立公園におけるシカによる植生被害を軽減するための順応的且つ効果的な植生保全施策を検討するため、植生調査、GISによる解析等を実施。

平成23年度に地方環境事務所等の担当者に対して実施した国立公園等の二ホンジカ生息状況アンケート調査を基に国立公園及び国指定鳥獣保護区毎の詳細な状況分析を実施。

生態系維持回復事業計画の策定や、植生被害状況、シカ生息密度・移動経路の分析による地形・実施体制に即した効果的な捕獲手法の検討、シカの試験捕獲等を実施

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.株式会社野生動物保護管理事務所		
費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成24年度秩父多摩甲斐国立公園ニホンジカ対策検討業務	6.3
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。 </div>		
計		6.3

C.公益財団法人知床財団		
費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	春期における知床国立公園エゾシカ捕獲手法検討業務	7.4
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。 </div>		
計		7.4

D.株式会社エス・アイ・エイ		
費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	尾瀬国立公園ニホンジカ植生被害対策検討業務	7.3
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。 </div>		
計		7.3

E.北佐久連合猟友会		
費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	浅間鳥獣保護区内(長野県側)におけるニホンジカ捕獲業務	3.4
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。 </div>		
計		3.4

F.一般財団法人自然環境研究センター		
費目	使途	金額 (百万円)
人件費	のべ145人日	3.8
旅費	のべ23人回	2.0
一般管理費	(人件費+業務費-外注費)×15%以内	0.9
借料及び損料	レンタカー 77日台	0.6
消費税	5%	0.4
消耗品費	餌、わな代等	0.3
印刷製本費	報告書 15部	0.02
計		8.0

G.社団法人徳島県猟友会		
費目	使途	金額 (百万円)
役務費	人件費、旅費、賃金等	2.7
消費税		0.2
計		3.0

H.株式会社一成		
費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	2.3
一般管理費		1.6
旅費交通費	旅費交通費	1.5
委託費	ヤクシカ捕獲	0.6
資材費	<<くり罠	0.3
資材費	植生保護柵	0.3
消費税		0.3
運搬費	柵運搬	0.1
印刷製本費	報告書	0.1
謝金等	地元NPO謝金等	0.04
受注者負担分		▲ 0.1
計		6.9

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社野生動物保護管理事務所	秩父多摩甲斐国立公園ニホンジカ対策検討業務	6.3	2	96.4

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人自然公園財団	国立公園等ニホンジカ生息状況等分析業務	0.7	少額随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人知床財団	春期における知床国立公園エゾシカ捕獲手法検討業務	7.4	1	81.8

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 エス・アイ・エイ	平成24年度尾瀬国立公園ニホンジカ植生被害対策検討業務	7.3	1	99.5
2	一般財団法人自然環境研究センター	平成24年度南アルプス国立公園ニホンジカ捕獲方法検討業務	6.8	2	85.4

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北佐久連合猟友会	浅間鳥獣保護区内(長野県側)におけるニホンジカ捕獲業務	3.4	1	97.9
2	特定非営利活動法人生物多様性研究所 あーすわーむ	浅間鳥獣保護区内ニホンジカ・イノシシ生息状況調査業務	0.9	少額随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	大台ヶ原ニホンジカ個体数調整業務	8.0	1	95.0
2	(株)地域環境計画	自動撮影カメラ購入	0.4	少額随意契約	—
3	竹田印刷(株)関西事業部	大台ヶ原ニホンジカ特定鳥獣保護管理計画(第3期)印刷製本	0.2	少額随意契約	—
4	(株)日興商会 大阪中央支店	充電式電池・SDカード等購入	0.1	少額随意契約	—
5	(株)タカシマ	結束バンド・シリンダー錠等購入、ワイヤーネット・塗料スプレー購入	0.02	少額随意契約	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人徳島県猟友会	剣山山系(徳島県側)におけるニホンジカの捕獲	3.0	参加者確認公募型	—
2	特定非営利活動法人四国自然	剣山山系におけるニホンジカ対策に係る情報分析及び検討会の開催	0.9	少額随意契約	—

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社一成	屋久島国立公園におけるヤクシカ適正管理方針検討業務	6.9	3	61.19
2	株式会社一成	霧島錦江湾国立公園霧島地域におけるニホンジカ管理方策検討業務	2.7	3	95.49
3	株式会社緑化技研	ノカイドウを主体としたえびの高原特有の植生を再生させるために必要な資料を得るための調査を行う。	1.9	不落随契	—
4	株式会社緑化技研	ノカイドウを主体としたえびの高原特有の植生を再生させるため、ノカイドウ自生地再生実験実施のための予備実験等を行う。	0.9	少額随意契約	—